

大谷学報 第四十八卷（昭和四十三年度） 総目録

第一 号

明恵上人の名字本尊について……………	藤島 達朗	(1)
新興宗教について——創価学会の一側面——……………	高橋 憲昭	(7)
図書館資料について……………	荷葉 堅正	(26)
浄土の教団——真宗教団の必然性についての試論——……………	寺川 俊昭	(34)
カントの公民社会……………	訓覇 曄雄	(46)
Pramāṇamānasa にあらわれたる正理学派の文献……………	長崎 法潤	(61)

第二 号

入楞伽經の原典研究……………	安井 広済	(1)
——梵文「現証品」「如来常無常品」「剎那品」「変化品」和訳・梵文訂正——……………		
ルソー教育論における宗教の問題……………	太田 祐周	(22)
平家物語における源空の説法……………	渡辺 貞麿	(39)
Samuel Taylor Coleridge の想像力と空想力との区別についての一考察……………	山下 登	(58)

大乘仏教の課題に應える浄土教……………遠藤 昂 (69)

第 三 号

真宗中興の志願——とくに蓮如の本願寺再興について……………細川 行信 (1)

時 間……………暁烏 哲夫 (12)

仏教と日本文学の接点への一考察……………白土 わか (24)

清末の教育——洋務と教育……………大竹 鑑 (33)

実存哲学における基本概念としての個体と人類……………二条 秀政 (50)

——キェルケゴールの思想を中心として——

元末帝師の事績……………西尾 賢隆 (65)

第 四 号

天台仏身觀の主体的性格……………安藤 俊雄 (1)

顯証寺蓮淳とその書狀——大小一揆研究序説……………北西 弘 (17)

不退転地への入門——大無量寿經についての一試論……………幡谷 明 (39)

唐北京石壁寺伝奥考……………滋野井 恬 (63)

蓮如上人「御文」の文章——文章史の観点から……………片岡 了 (76)